

平成 29 年 4 月 30 日

助成事業実施報告書

団体名 武蔵村山 N P O ネットワーク

代表者・役職名 氏名 代表理事 木村 祐子

1. 助成プロジェクト名

武蔵村山市内で活動するボランティア・市民活動団体の P R のための「市民発!! 元気フェスタ」の開催

2. 実施団体の概要（創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで）

平成 19 年の設立時、既に市内には 16 の N P O 法人が設立されていたが、ますますの市民活動団体の増加が予測されました。また古くからの活動を通じて、団体同士のつながりがあるうちに、行政との協働を視野に入れ、横断的な交流を行うことと、新しい市民活動団体に対してメンターとしての役割を果たせるように市内の N P O 団体が中心になって組織化しました。

3. プロジェクトの目的とその背景（※応募申請書に記載のものでも可） 250文字程度まで

武蔵村山市内には N P O 法人 23 団体と多数の団体が地域で市民活動をしています。市内の N P O 法人や市民団体の活動が、一般市民に広く知れ渡っているとはまだまだいえません。また、高齢化社会の進行、子育ての問題、環境問題等々、N P O（市民活動）はますます重要になってきています。市民発!! 元気フェスタは、市民活動団体同士が連携を図り、市民活動への理解を深める機会を提供することを目的に開催し、市民活動団体の認知度を向上させるものです。

4. プロジェクトの内容（※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可） 300文字程度まで

武蔵村山市内で活動するボランティア・市民活動団体の P R のための「市民発!! 元気フェスタ」を、平成 28 年 5 月 15 日に、武蔵村山市学園の市民総合センターを会場に開催します。具体的には、市内で活動するボランティア・市民活動団体により、パネル展、ステージ発表、相談会、ワークショップなどによる活動紹介を行います。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

60 の参加団体と 1000 人を超える来場者を迎えました。パネルやワークショップなどを通じて、武蔵村山市にこんな活動をしている団体があったのかと反響を呼びました。また団体同士のつながりも生まれました。好評につき平成 29 年 5 月 21 日に第 2 回を行う予定で、おかげさまで参加団体も増加する予定です。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

来場者数をカウントできなかったため第 2 回はボランティアの協力でカウントします。今後も市からのイベント自体への助成が望めないため、今年も他の助成金を利用したり、参加団体の売り上げの 10% を運営費としていただいたりしながら自立したお祭りとして毎年開催していきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり

市民発!!

元気フェスタ

2016



武蔵村山市初めての
ボランティアと市民活動団体の見本市です。
ステージ発表・飲食・フリーマーケット・各種相談会
体験コーナー・パネル発表など楽しい企画が盛りだくさん。
遊びに来てね!

5月15日(日)

午前9時～午後4時

入場無料・雨天決行

武蔵村山市民総合センター
雷塚小学校体育館



※お車でお越しの際は、さいかち公園に駐車してください。
※ペットを連れてのご来場はご遠慮ください。



お問い合わせ

武蔵村山市民ボランティア・市民活動センター
(武蔵村山市民総合センター 2階)
042-590-1430 (月曜・祝日休み)
<http://musashimurayama.org/>

真如苑助成事業

主催 市民発!!元気フェスタ実行委員会 共催 武蔵村山NPOネットワーク
後援 武蔵村山市 武蔵村山市社会福祉協議会 武蔵村山市商工会
協賛 株式会社 天乃屋 西武信用金庫 トヨタ西東京カローラ株式会社 株式会社ダイエー武蔵村山店